

しものじょうみどりかい

下之条水土里会（上田市）

・組織の活動面積	A＝	20	ha	組織形態	農地維持	■	資源向上(共同)	□	資源向上 (長寿命化)	□
・組織の構成員数	約	130	人	取組開始年度	平成26年～		—		—	

構成員

農業者…下之条・半過・上田原・中之条、地区住民…下之条・上田原、
団体 …二ヶ村堰土地改良区、下之条農家組合、株)高山ドリーム

組織の概要

- ・下之条地区は上田市の北西、浦野川・産川の千曲川への合流地点に位置している。県道上田上山田線の両側に広がる、岩鼻山間からの強風が吹き抜ける地域。地区の北には葦原淵神社、西には須々木山神社が村を見守り、春と秋に祭りをする。戦国時代には合戦があり、板垣信方をはじめ名武将の遺跡が残る。西側に古からの住宅地があり、東側には新興住宅が急速に広がり農地は大幅減少、地区全体での農地や施設の利活用や維持管理が難しくなりつつある。
- ・農地は、平成10年に県営圃場整備事業が完成し、約20haの整備田が確保され、それに合わせて建設された県営野球場がある。整備田が主体の農地構成で、水田を活用した農業、米や果樹・野菜・花卉栽培が営まれている。
- ・未利用農地や荒廃農地の増加が危惧されつつあるが、土地改良区や自治会が行ってきた農道、用水路等の維持管理活動を下之条水土里会中心となって行い、更なる推進を図って活動の活性化を目指している。
- ・農地維持活動は、夏と秋の道路維持活動（農道草刈）、春に行われる8箇所の堰での水路維持活動。それに、管内農地にかかわる管理が行き届かない所の草刈作業などを行い、水路、農道、圃場の健全化を目指している。

下之条地域の歴史や文化を育む農地を次世代に

